

2011年4月13日

各位

エクソンモービル有限会社
問合せ先：広報渉外部
TEL 03-6713-4378
甲斐 080-1026-3736
田所 090-6930-9103

エクソンモービル、陸前高田市において、 4万リットル規模の斬新な仮設スタンドを設置

エクソンモービル・ジャパングループ(本社:東京都港区、代表:P.P.デューコム)は、復興支援の一環として、燃料安定供給が急務となっている岩手県陸前高田市において、4月21日を目処に、ガソリンと軽油合計で4万リットルのタンクを備えた仮設サービスステーション(SS)の設置を行ないます。

3月11日の東日本大震災からひと月が経ち、被災地の多くの地域ではSSネットワークが復旧しています。しかしながら、一部の自治体においては、依然としてSS再開の目処がたっておらず、自衛隊・地元消防の協力によるドラム缶からの燃料供給に限られていました。

当グループでは、この状況を一日も早く解決すべくプロジェクトチームを立ち上げ、経済産業省資源エネルギー庁、総務省消防庁および地元の自治体や消防当局などの関係行政機関と協議をかさね、従来、特殊化学製品などを搬送するために使われている、ISO承認を受けたバルクコンテナ(2万リットルの燃料が収容可能で、乗用車約500台の給油が可能)を活用して、「SS空白地帯」の1つである陸前高田市に、安全性と効率性を兼ね備えた仮設SSの設置を検討してきました。

その結果、仮設SSの技術的検討、設計・現地施工を当グループで実施し、同市に提供する予定となりました。加えて、運転開始に向けて、運営者となる地元石油業者に対する安全および環境面での教育支援も行ないます。また、経産省の補助金を活用する形で、岩手県上閉郡大槌町(かみへいぐんおおつちちょう)にも、同様の仮設SSの設置にむけて、関係行政機関と協議・検討を進めています。

当グループは、被災地の復旧・復興にむけて、今後も燃料油の安定供給などの各種支援に取り組んでいきます。

以上

エクソンモービル・ジャパングループについて

エクソンモービル・ジャパングループは、エクソンモービル有限会社を中心に、東燃ゼネラル石油株式会社をはじめとする子会社・関連会社で構成されています。エクソンモービル・ジャパングループは、エッソ、モービル、ゼネラルのブランドのもと、石油製品、潤滑油、石油化学品の製造・販売を行う大手事業者です。エクソンモービルの日本での創業は、1893年にさかのぼります。エクソンモービル有限会社は、米エクソンモービルコーポレーションが100%の株式を間接的に保有する子会社です。東燃ゼネラル石油は、エクソンモービル有限会社が50.02%の株式を保有し、東京証券取引所第一部に株式を上場しております。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。www.exxonmobil.jp/ www.tonengeneral.co.jp